



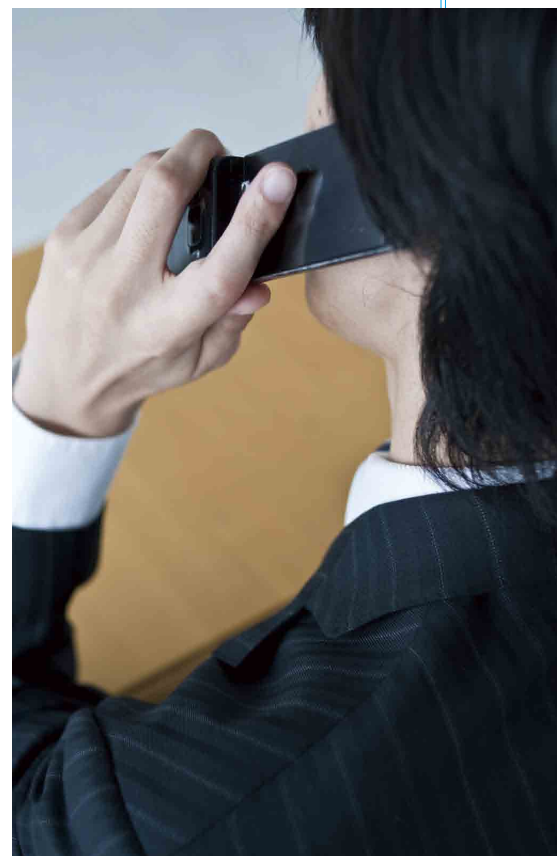
特殊詐欺が巧妙化！

詐欺の実態を知ることが、 詐欺の被害を防ぐことにつながる！

この数字は、平成25年中の振り込み詐欺を含む特殊詐欺の被害額です。下記グラフは特集詐欺のうち、振り込み詐欺の発生件数と被害額の推移を表したグラフですが、右肩上がりに被害額は増加しているのが分かります。また、平成26年上半年の被害額は約268億円、昨年と比較して3割増となっており、増加の一途をたどっています。

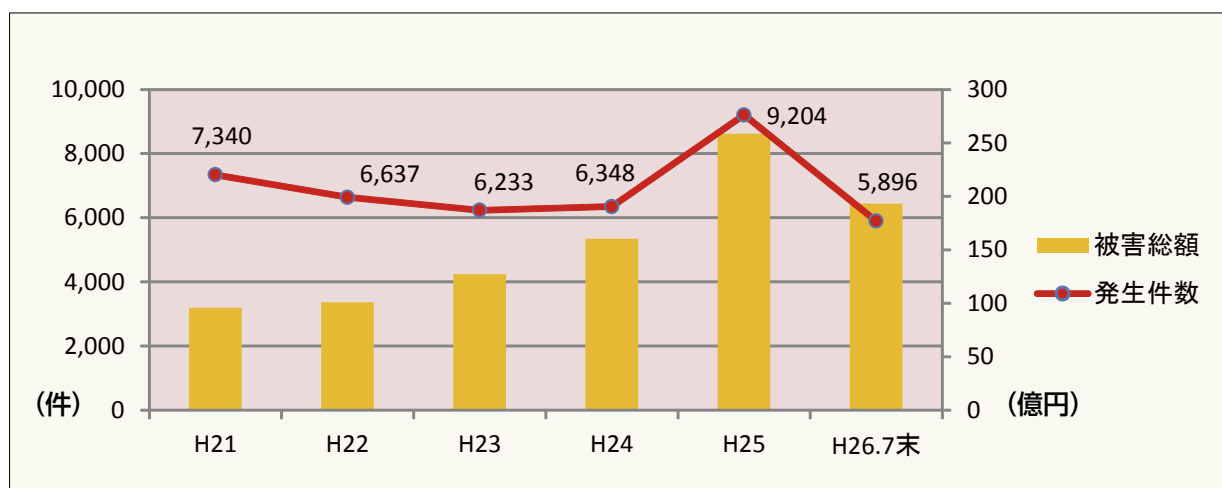
近年の特殊詐欺は巧妙化しており、警察や消費生活センターなどからの注意喚起がなされていながらも関わらず、被害を防げないのが現状です。多くの人たちは「なんでオレオレ詐欺なんて簡単な詐欺にひっかかるのだろう」「自分は絶対に騙されない」と高を括っているはずですが、でも、そんな「詐欺への備え」ができていない人たちが一番危険なのです。今月号は、近年みられる詐欺の事例などを交えながら、「詐欺への備え」知識を得てもらい、詐欺被害に遭わないための特集をお届けします。他人事とは思わずぜひ一読ください。

なぜ減らない特殊詐欺！
その理由は「詐欺への備え」が不十分だから。



● 振り込み詐欺の発生件数と被害額の推移

(出典：警察庁調べ)



振り込め詐欺 4つの手口

特殊詐欺の被害の中でも半数以上の割合を占める「振り込め詐欺」。代表的な4つの手口とともに、『この言葉を聞いたら要注意！「危険なキーワード」』を紹介します。

架空請求詐欺

1,522件 / 約 63.4 億円

不特定多数の者に対し、有料サイト利用料金や訴訟関係費用と偽り、架空の事実を口実とした料金を請求する文書やメールなどを送り、現金を振り込ませるなどして騙し取る詐欺。

最近の傾向

携帯電話やパソコンに上記にあげるような不安にさせる内容のメールが届きます。電話をすると「本日であれば間に合う」など、丁寧な口調で説明され、料金を請求されます。「レターパックで現金を送れ」という指示は詐欺です。心当たりのない請求で心配な場合は消費生活センターなどを活用してください。



- 総合情報サイト利用料金
- 延滞金が発生

被害者層：全年齢層に分散

オレオレ詐欺

5,396件 / 約 171.3 億円

電話を利用して息子や孫などを装い、会社でのトラブルや横領などの補てん金、サラ金などの借金と偽り、現金を預金口座に振り込ませるなどの方法により騙し取る詐欺。

最近の傾向

警察官や銀行協会職員などを名乗り、暗証番号を聞き出し、キャッシュカードをだまし取る手口が多く発生。警察や銀行職員が暗証番号を聞くことは絶対にありません！万が一のため、キャッシュカードの引き出し限度額を引き下げておくことも有効な手段です。



- 電話番号が変わった
- キャッシュカードを預かる

被害者層：60 歳以上が全体の9割

還付金等詐欺

1,817件 / 約 16.9 億円

社会保険事務所や自治体の職員などを名乗り、年金や税金の還付金手続きがあるかのように装って、ATM まで誘導して、相手方への口座へ現金を振り込ませる詐欺。

最近の傾向

機械の操作に不慣れな高齢者を狙った卑劣な犯罪。「銀行のATMは込みますのでコンビニのATMに行ってください」などと指示し、ATM管理者の注意が行き届きにくい場所を指定します。携帯電話をかけながらATMを操作している高齢者を見かけたら声をかけてあげましょう。



- 医療費の還付
- 税金の還付

被害者層：大半が60歳以上

融資保証金詐欺

469件 / 約 7.7 億円

ダイレクトメール、FAX、電話などを利用して融資を誘い、融資を申し込んできた者に対し、保証金などを名目に現金を預金口座などに振り込ませるなどの方法により騙し取る詐欺。

最近の傾向

あたかも震災により経営に被害を被った会社を救済するかのごとく欺き、事務手数料や保証金などの名目で現金をだまし取る手口が発生。正規の貸金業者では、いかなる名目であっても融資を前提に現金の振り込みを要求することはありません！



- 借金の一本化
- 会社の運転資金

被害者層：40 歳以上男性が全体の5割

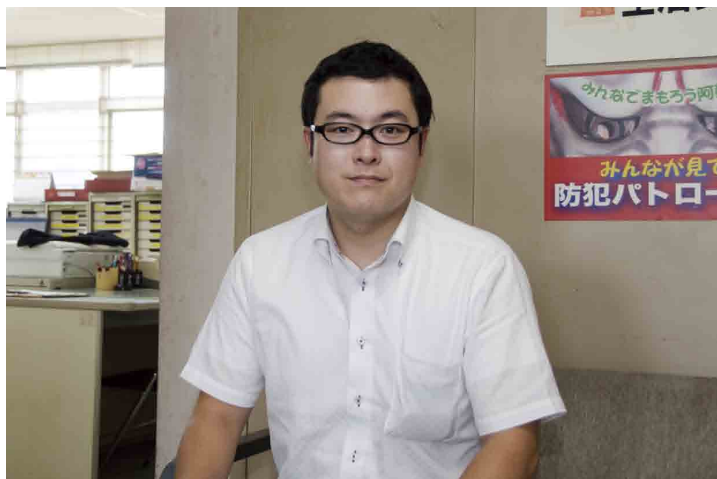
詐欺に対する 危機意識を持って行動を。

「自分は騙されないと
思っている人ほど、実は騙
されやすいんです。」
こう話すのは、阿蘇警察
署生活安全課巡査部長の榎
田さん。熊本県内でも特殊
詐欺の被害は増加傾向にあ
り、阿蘇地域でも被害が発
生しているとのこと。阿
蘇警察署では、被害防止の
ために、さまざまな啓発活
動に取り組んでいます。
熊本県警察全体で、現在
取り組んでいるのが『留守

番電話作戦』。「詐欺被害の
多くは1本の電話から始ま
ります。犯人はあの手この
手で騙そうとしてきますの
で、落ち着いて対応できる
ようにするために、自宅の
電話を留守番電話に設定す
ることを勧めています」と
榎田さん。
また、年金支給日には金
融機関と連携して、お客さ
んに対し啓発チラシやグッ
ズを配布し、詐欺被害を未
然に防ぐ取り組みを行うな

ど、啓発活動にも精力的に
取り組んでいます。
「今の時代、『必ず儲かる』
なんて言葉を耳にしたら、
まず詐欺を疑ってほしい。
危機意識を常に持つて行動
することで、詐欺被害を未
然に防ぐことができる」と
榎田さん。
それでも、万が一詐欺に
遭ったと気づいたら、一分
一秒でも早く警察や家族に
相談することが大切です。

実際に相談して犯人にお金
がわたる前に対処できた事
案もあるとのこと。
被害が広がる詐欺被害。
いつ自分の身にふりかっ
てもおかしくない状況のな
か、一人一人が詐欺に対す
る知識と警戒感を持つこと
が何よりも重要といえま
す。



熊本県阿蘇警察署
刑事・生活安全課 生活安全係主任
巡査部長 榎田 悠介さん

事例1

融資保証金詐欺で 450万円被害!

被害者が代表取締役を務める会社の
FAX に、融資案内の資料が送られてき
たので融資を申し込んだところ、融資
を実行するためには契約事務手数料、
信用預託金が必要であると言われたこ
とから、手数料等を支払えば確実に融
資を受けられると信じ込み、犯人が指
定した口座に金融機関のATM、窓口か
ら5回にわたり、現金合計454万円
を振り込み騙し取られた。

事例2

出会い系サイトの罠 ポイント購入で被害!

被害者が女性を紹介してもらうため
に携帯電話で出会い系サイトへ登録を
行ったら、会員登録料、女性への
連絡するためのポイントを購入する必
要があると言われたことから、その話
を信じ込み、犯人が指定した口座に
ATMから32回にわたり、現金合計
284万円を振り込み騙し取られた。

※上記事例は、熊本県内でことし8月に
実際に発生した詐欺被害事例です。

振り込め詐欺相談ホットライン

☎ 096-381-2567

※阿蘇警察署 (☎ 22-5110) でも受け付けています。



阿蘇市消費生活センター

一の宮町宮地 505 番地 1
(阿蘇市役所東側別館)

開設日 月曜～金曜（祝祭日・年末年始除く）
時間 午前9時～午後4時
電話 22-3364
(お知らせ端末) 55-3364

○高齢者の消費者トラブルにおける問題点

トラブルなどにあっているという認識が低く、問題が潜在化しやすい

一人暮らしの高齢者がトラブルや被害にあいやすく、周囲に気づかれにくい

契約した経緯や、判断能力が不十分であったことの証明が難しい

高齢者の弱みにつけこんだ悪質業者に狙われやすい

○高齢者を見守る家族や周囲の人へのアドバイス

1. 見守りから相談までの流れ

- ① 日頃から高齢者本人の居室・居宅の様子、言動や態度に変化や不審な点がないか気をつける
- ② 少しでも変化に気づいたら高齢者本人に声をかけ、経緯などを確認する
- ③ トラブルや被害にあっているとわかったら、すぐに消費生活センターに相談する

2. トラブルを防止するための日頃の備え

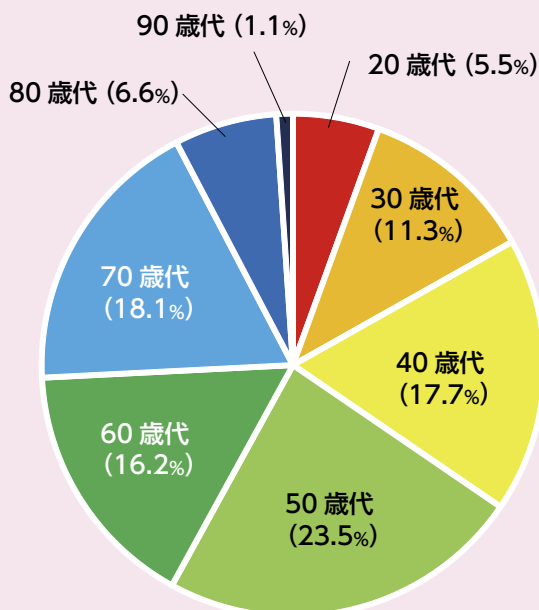
- ① 地域の見守り活動や、成年後見制度の利用を検討する
- ② 通話録音装置などの新しい「防犯アイテム」を利用する

平成24年4月に開設した「阿蘇市消費生活センター」。これまで、市民の皆さんから寄せられるさまざまな消費者トラブルに対応していますが、近年増加傾向にあるのが、高齢者をめぐるトラブル。その中でも認知症などの理由により判断能力が不十分な状態になっている高齢者の消費者

トラブルは、全国で1万件を超えるなど被害は深刻です。
内容は、健康食品の送りつけ商法や住宅リフォーム工事の訪問販売による高額な契約トラブルなどさまざま、最近ではインターネットに関連した通信回線契約のトラブルも多く見られるようになり、犯人はあらゆ

る手段で高齢者を狙っています。
高齢者の消費者トラブルを防ぐためのポイントは、家族や周囲による「見守り」と「気づき」です。トラブルに関する問題点は左記のとおりです。事前に確認することが対策につながりますのでご確認ください。

困ったときにはすぐに相談！
市民の強い味方！ 阿蘇市消費生活センター
狙われる高齢者、
トラブルを防ぐポイントは「見守り」「気づき」。



データ
平成25年度相談者年齢別割合

消費生活見守りネットワーク推進員

市では、各地域の民生・児童委員が地域の見守り活動を行っています。また、消費生活センターへのつなぎ役も担っていただいていますので、お気軽にご相談ください。